

乗り方教室用のパネルを作りました
～小さいときから鉄道やバスに親しみ、公共交通を身近な存在に～
(中国運輸局)

中国地方は、人口減少・少子高齢化が進むとともに、マイカー依存度が高いことから、公共交通を取り巻く状況は厳しくなっています。

そこで、中国運輸局交通政策部は、平成 28 年度のキーワードを「公共交通利用促進」と定め、様々な取組を行うこととしています。

その第 1 弾として、子どもたち向けの「乗り方教室」や「環境学習」等の出前講座に重点的に取り組むこととし、幼稚園・保育園や小学校で実施する際に使うためのパネル 6 枚を作製しました。

中国運輸局でこのような公共交通利用促進のためのパネルを作るのは初めてです。

6月24日に小学校の3年生を対象として開催したバリアフリー教室において、初めてパネルを使用したバスの乗り方教室を行い、「バスの乗り方について、よく分かった。」「ポイントが整理されてわかりやすい。」など、大変好評でした。

今後は、このパネルを積極的に用いて、子どもの頃から鉄道やバスなどの公共交通に親んでもらう機会を増やし、利用促進を図ってまいります。



▽パネル等の詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/release/160614001.pdf>